

民族学

[目次]

| 開館40周年記念特集 |

003 **民博の展示が
めざすもの**

**展示をささえる
理念・研究・技術**

007 民博の展示のこれまでとこれから
吉田 憲司

019 **本格的な
博物館プランニングへの挑戦**
岩城 晴貞

031 **民博の舞台裏**
——資料の活用と保存の両立をめざして
園田 直子

043 略年表 展示のあゆみ

**展示に探る
民族の世界観・死生観**

049 **ルーマニアのガラスアイコンと陽気な墓**
新免 光比呂

057 **故郷をめざす船**
——トラジャの穀倉
佐藤 浩司

067 **カザフの子育て**
——ゆりかごのむこうに広がる世界
藤本 透子

075 **異界と人をつなぐモノたち**
北原 次郎太

083 **民博をささえるさまざまな活動**
——千里文化財団 この40年間のあゆみ

089 生活必需品から文化と近代化を考える [2]
「みずまわり」にみる
暮らし・意識・身体感覚の変化
——インドネシアの生活用品基礎調査から
金子 正徳

099 梅棹アーカイブズから
**民博の展示基本構想の参考となった
ヨーロッパの博物館視察**
久保 正敏

101 印東道子・白川千尋・関雄二編
『フィールドワーク選書』全二〇巻
編者が語る読みどころ(4)

表紙 トーテムポールが見た 40 年
文・写真＝編集部

写真提供・協力
国立民族学博物館、伊藤敦規、大阪府、朝日新聞社、トータルメディア
開発研究所、須井隆行、エスバ、阿寒アイヌ協会

本文中、撮影者・提供者を記載していない写真は執筆者の撮影・提供
によるものです。